



津奈木中
学校便り
No. 18

夢実現・挑戦

令和7年1月17日
津奈木町立津奈木中学校
校長 高橋 裕二

花瓶には、大きな石から入れよう!!

明けましておめでとうございます。年末年始、インフルエンザが大流行し、3年生は学級閉鎖となり、終業式は参加できませんでした。

いよいよ最後の学期、3学期がスタートしました。3月のゴールまでに自分の目標を達成し、課題は克服してください。始業式で話した内容（1%の努力・著者ひろゆき）を紹介します。

今から簡単なゲームをします。花瓶に大きな石を入れます。「花瓶は満杯か」と尋ねると、多くの生徒は首を横に振りました。



【12月2年修学旅行・東大寺】

次に小石が入ることを考えさせ、さらに砂、最後に水が入り、花瓶は満杯になります。

さて、このゲームは何を言いたいのか、分かりますか……。実は、このゲームが示してくれるのは、大きな石を先に入れない限り、その大きな石が入ることは、その後、二度とチャンスはないということです。

花瓶を人生に例えると、大きな石は、将来の夢や目標、勉強、スポーツや芸術、仕事、家族など、人それぞれですが、自分にとって



【12月町スクールコンサート】

人生で一番大切なものになります。

もし、皆さんが小さな石や砂、つまり自分にとって、あまり重要ではないものから花瓶を満たしていけば、皆さんの人生は、重要でない「何か」に満たされてしまいます。もう一度書きますが、人生は大きな石から花瓶に入れていかなければなりません。さもないと、大きな石は永遠に花瓶には入りません。自分なりのできるだけ大きな石を見つけ、花瓶に入れていきましょう。

道徳教育研究発表会に約150名参加!!

11月21日、道徳教育研究推進校として、津奈木小・中連携して2年間取り組み、研究発表会を本校で開催しました。小・中学校それぞれ2つずつ道徳科の授業を公開し、その後、児童生徒の代表4名も参加してシンポジウムを行いました。

参加者からは、「授業中、生徒が真剣に考える姿や自分の意見を堂々と発表する姿に感動した」「考え、議論する道徳の授業のイメージができた」「シンポジウムに参加



【3年道徳科・山崎さんの話】

した生徒の素直な意見を聞いて良かった」など、有難い感想が数多くありました。

P.T.A.の皆様には、車の誘導や交通整理など、ご協力いただき感謝申し上げます。

快挙!! 2年高木君が熊本県知事賞

第84回熊本県科学展において、2年高木君が中学校の部の最優秀である熊本県知事賞を受賞しました。高木君は、「ナガコガネグモが揺れる理由」について調べ、クモの巣やクモ本体に直接何かが触れた時と音に反応して警戒・威嚇する時に、前後に揺れることを発見しました。おめでとうございます。

本校の身につける力は「見通す力・やり遂げる力・伝える力」ですが、地道に実験し、観察・考察した結果を、応用紙に分かりやすくまとめてありました。

令和7年が始まりましたが、年々時が経つのが早く感じるようになりました。役職定年のため、私の津奈木中2年間のゴールも近づいてきました。「2~3年あっても成果を出せないと言うのは甘えではないか。生徒はその間に卒業してしまう」という教育雑誌の言葉に、校長として責任を感じるばかりです。さて、教育は未来への投資と言われますが、生徒の皆さんも「未来の自分」をイメージして、どんな自分になりたいか、どんな人生を歩みたいかを、しっかり考えてほしいです。

私は人生の大部分を中学校で過ごし、3年放課後や土日は、生徒に野球を指導しました。辛いことも時々ありましたが(笑)、とても楽しく充実した時間でした。生徒に感謝です!!